

沖縄県うるま市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	3,642,000	2,603,000	6,245,000	11%	森林の公益的機能の普及啓発活動及び市内公共施設等への木材利用。
譲与額（円）	47,461,000	11,943,000	59,404,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）	うち 森林環境譲与税	事業内容
森林整備	森林整備	484,000	484,000	地区保全林区域内における健全な琉球松を対象木とし、1,011本について調査し、野帳・図面作成を行った。
森林整備	森林整備	1,969,000	1,969,000	地区保全林区域内における健全な琉球松を対象木とし、松枯れ予防剤の樹幹注入を150本について実施した。
木材利用・普及啓発	木材利用・普及啓発	150,000	150,000	農林水産まつりにおいて13種類の県産木を使用したキーホルダー作りを実施し、330個作成された。
基金積立		11,943,000	11,943,000	うるま市森林環境譲与税積立基金
合計		14,546,000	14,546,000	

■今後の実施計画

①森林整備

地区保全林区域内における健全な琉球松を対象木とし、胸高直径と樹高を野帳に記録し、その位置を図面(1/1000)に表示する。



（胸高直径計測）



（胸高地点確認※地上から120cm）

②公共施設等の県産材利用の促進

親子通園教室の通園利用者への木製遊具の利用普及。木製遊具を通して、発達が気になる子どもたちの感覚統合や適応力を促し、木のぬくもりを感じながら身近にある自然と共存する大切さや、環境への意識を高める。

- ◇国産材で作られた「木製おもちゃ」 数種類
- ◇国産材で作られた「わいわいジム」